

第4章 総合戦略

第1節 総合戦略について

第2節 4つの基本目標と施策の展開

令和8年（2026年）9月改訂

第1節 総合戦略について

1 はじめに

八幡浜市では、人口減少問題の克服と持続可能なまちづくりを目指し、平成 27(2015)年度に「第1期八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その後、令和元(2019)年度には新たな視点を加えた「第2期八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、様々な取組を進めてきました。

現在、八幡浜市を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や若年世代の転出超過など依然として厳しい状況にあります。こうした課題を踏まえ、第3期八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「本戦略」という。)では、「人」「産業」「暮らし」の好循環を生み出し、住民一人ひとりが誇りと生きがいを感じられるまちの実現を目指します。

また、本戦略は学校教育や子育て支援にとどまらず、生涯学習、地域活動、社会参加、ICT 利活用など、すべての世代を対象とした包括的なビジョンとして位置づけます。さらに、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方版総合戦略として、国・県の長期ビジョンや総合戦略と整合を図りながら推進します。

2 総合戦略の期間

本戦略は、総合計画の改定時期にあわせ、総合計画と一体的に策定するものとし、令和8(2026)年度から令和 12(2030)年度までの5年間を計画期間とします。

また、必要に応じて見直しを行いながら、各施策の進行管理を行い、効率的・効果的な実施を図ります。

3 総合戦略の推進体制

本戦略の推進にあたっては、国や県の交付金・地方財政措置の動向を踏まえつつ、健全な財政運営に留意しながら取り組みます。また、庁内部局横断的な地方創生推進プロジェクトチームなどを活用し、計画的・効率的な実施を進めます。

さらに住民団体や産・官・学・金・労・言等の有識者で構成する「八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」において、毎年度、効果検証を行い、進捗確認や改善を図ります。

第2節 4つの基本目標と施策展開

基本目標

1

強い産業をつくり、しごとを維持・創出する

基本的な方向性

- 日本一の柑橘産地を守り、スマート農業や AI 技術、省力化の導入によって生産性の向上を図ります。あわせて、担い手の育成や所得向上、気候変動や資材高騰への対応を進め、持続可能な農業を確立します。
- 西日本有数の水揚げ量と豊富な魚種を活かし、加工品開発や販路拡大、魚食普及や離島振興を推進します。漁港施設の老朽化対策、資源管理やデータ活用を進めることで、漁業者の所得向上と担い手確保を図り、水産業の持続的な発展につなげます。
- 中小企業の経営安定や事業承継・創業支援を強化するとともに、誘致や外商の拡大を進めます。商店街や中心市街地については、空き店舗活用やイベント展開により、多世代が集い交流できる魅力的な空間へ再生し、地域全体のにぎわい創出につなげます。
- 農林水産業や商工業分野において、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進により、生産性の向上と新たなビジネスモデルの創出を図ります。

成果指標

成果指標	基準値 (R6)	目標値 (R12)
市内総生産額	1,096 (R3) 億円	1,250 億円
1人当たり市民所得	2,398 (R3) 千円	2,800 千円
就業者数	15,667 人 (R2)	14,200 人

施策の展開

1-1 柑橘産地の維持

主な取組: ①農業基盤の整備/②担い手の確保・育成/③収穫期の労働力確保
④農地の保全及び耕作放棄地対策/⑤鳥獣害対策

1-2 農産物の高付加価値化と生産性向上

主な取組: ①農産物の高品質化/②農産物の高付加価値化/③世界マーマレード大会の開催
④最新技術の活用による生産性向上と省力化/⑤販売ルートの多様化
⑥DX の推進による農業経営の効率化

1-3 水産基地機能の維持

主な取組: ①水産基盤の整備/②担い手の確保・育成及び経営支援/③施設の老朽化対策

1-4 水産物の高付加価値化と生産性向上

主な取組: ①水産物の高付加価値化/②最新技術の活用による生産性向上と省力化
③海産物直売所の賑わい創出/④魚食普及活動の推進/⑤販売ルートの多様化に向けた水産物の販路開拓支援

1-5 商工業振興による経済循環の促進

主な取組: ①中小企業の経営支援/②創業・事業承継の支援/③商品開発及び販路開拓の支援
④商店街周辺エリアの活性化/⑤地域商社機能の創出/⑥中小企業の DX 化支援

1-6 雇用の場確保と人材不足の解消

主な取組: ①市内企業の留め置き及び誘致/②労働力不足の解消/③西宇和みかん支援隊事業

基本的な方向性

- 雇用の創出や生活利便性の向上とあわせて、空き家の利活用やテレワーク環境の整備を進めます。市外の若者や子育て世帯が「八幡浜での暮らし」を具体的にイメージできるよう、情報発信を充実させ、UIJ ターンの促進につなげます。
- 「八幡浜市ふるさと観光公社」を核とした着地型観光の推進や、みかん・魚・まちなかなど地域資源を活かしたプロモーションを強化します。イベントや体験型観光を充実させることで、市内外の来訪者を増やし、交流人口の拡大を図ります。
- 地域おこし協力隊や教育機関と連携し、若い世代が地域の魅力を体感できる学習機会を提供します。さらに、八幡浜市に縁のある方々や応援してくださる方々とのネットワークを強化し、「八幡浜ファン」の獲得と継続的な関わりを広げます。
- 若者や子育て世帯が安心して移住できるよう、奨学金返還支援をはじめとした経済的支援策を充実させます。

成果指標

成果指標	基準値 (R6)	目標値 (R12)
人口の社会増減	▲131 人	▲70 人
観光入込客数	1,853,118 人	2,055,000 人
ふるさと納税寄附金額	30.9 億円	35 億円

2-1 地域特性を踏まえた移住・定住の促進

主な取組: ①移住情報の発信強化/②移住・定住環境の整備/③地域おこし協力隊の配置

④ふるさとへの愛着を育む教育の推進/⑤移住者を対象とした奨学金返還支援の実施

⑥地域による移住促進事業補助金、移住促進事業(フェア・サイト関係)

2-2 地域資源を活用した着地型観光の推進

主な取組: ①観光拠点の整備及び魅力化(八幡浜市スケートパーク整備、みなと立体駐車場建設など、若者や来訪者が集う新たな拠点機能の形成)/②市の知名度向上と地域製品のPR強化/③八幡浜版DMOを核とした着地型観光の推進/④スポーツ・文化資源を活用した観光まちづくり(松村正恒モダニズム建築記念館(仮称)の整備を通じた文化観光拠点づくりを含む)/⑤インバウンド環境の整備(クルーズ船寄港事業の推進、港湾機能を活かした国際交流・周辺商店街への回遊促進)/⑥「愛媛 大・八幡浜展」/⑦ちゃんぽんカップ麺を活用したPR事業

2-3 八幡浜ファン獲得に向けたプロモーション強化

主な取組: ①シティプロモーションの推進/②縁(ゆかり)ある方とのつながり強化

③ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進/④関係人口創出事業による滞在・体験機会の充実

基本的な方向性

- 未婚化・晩婚化に対応するため、結婚を希望する方々が出会える機会づくりや、新婚生活への経済的支援を充実させます。あわせて、若い世代が将来を描けるよう、ライフデザイン形成を支援し、結婚や家庭に前向きな意識を育みます。
- 妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援体制を整えるとともに、保育施設やサービスの充実を進めます。共働き世帯を含む多様な子育てニーズに応じられるよう、経済的・精神的な支援と安心して利用できる環境を確保します。
- ワーク・ライフ・バランスを推進し、子育てしながら働き続けられる環境を整備します。また、デジタル技術を活用した連絡・情報共有の効率化により、保育士や教員の働きやすさを高め、こども一人ひとりに丁寧に向き合える子育て環境を充実させます。
- こども・若者が地域の魅力を知り、キャリアを描ける体験機会を提供することで、ふるさとへの愛着や将来の定住意欲につなげます。

成果指標

成果指標	基準値 (R6)	目標値 (R12)
婚姻数	60 組	65 組
出生数	115 人	140 人
合計特殊出生率	1.45 (H30～R4 平均)	1.78
子育て支援の満足度	就学前児童 76.1% 小学生児童 76.5%	就学前児童 80% 小学生児童 80%

施策の展開

3-1 結婚の希望をかなえる環境づくり

主な取組: ①お見合い事業の充実/②出会いの場の創出/③新婚カップルへの支援

3-2 安心して出産できる環境づくり

主な取組: ①妊婦健診の実施/②不妊治療費の無料化/③出産環境の確保/④奨学金返還支援の実施

3-3 子育てしやすい環境づくり

主な取組: ①子育て支援の充実/②保育施設の充実/③経済的負担の軽減/④こどもの遊び場・公園の整備
/⑤こどもの居場所づくりの推進/⑥障がい児サービスの充実/⑦仕事と子育ての両立支援
/⑧ふるさと・キャリア教育の推進

基本的な方向性

- 南海トラフ巨大地震や風水害などの大規模災害に備え、防災教育や訓練を通じて市民の防災意識を高めます。消防団や自主防災組織の活動支援を強化し、避難体制や地域防災力を向上させることで、市民が安心して暮らせる体制を整えます。
- 地域公共交通の維持・確保と移動手段の多様化を進め、高齢者や交通弱者の生活の足を守ります。あわせて、市立八幡浜総合病院を中心とした医療提供体制や、介護予防・福祉サービスの充実により、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備します。
- 誰ひとり取り残さないデジタル化を目指し、公民館等でのスマホ教室やデジタル人材の活用を推進します。マイナンバーカードの利活用やオンライン行政手続きの拡充により、市民の利便性を高め、暮らしの快適さと行政サービスの質を向上させます。
- 都市基盤や公共交通の整備を通じて生活利便性を高めるとともに、若者や来訪者が集う交流拠点の整備により、まちのにぎわいを創出します。

成果指標

成果指標	基準値 (R6)	目標値 (R12)
「八幡浜市に住みたい」と回答した市民の割合	60.3% (回答数:645 人)	70.0%

4-1 コンパクトシティの機能充実

主な取組: ①主要道路の整備促進/②港湾の整備促進(出島)/③八幡浜港みらいプロジェクトの推進/
④無電柱化の推進/⑤老朽上下水道施設の更新/⑥公共交通の維持確保・利便性向上と
交通弱者対策/⑦新しい視点による中心市街地の活用/⑧居住環境の整備/ ⑨企業や地
域との連携による脱炭素社会の実現に向けた取組/⑩四国電力跡地プロジェクトの推進
/⑪愛宕山プロジェクトの推進/⑫公共交通や行政サービスにおける DX の推進/⑬八幡
浜市スケートパーク整備/⑭フットサルコート(少年サッカー用コート併用)整備

4-2 地域ぐるみの防災力強化

主な取組: ①地域防災体制の強化/②防災情報の発信強化

4-3 高齢者や障がい者にやさしい環境整備

主な取組: ①養護老人ホームのリニューアル/②グループホーム等の地域生活支援拠点等の整備
③高齢者の健康・元気づくりの場の充実/
④地域ぐるみで糖尿病を悪化させないまちづくり/⑤障がい者サービスの充実

4-4 地域医療の充実による安心構築

主な取組: ①市立八幡浜総合病院職員住宅の整備/②救急医療体制の充実
③寄附講座の設置/④看護師等修学資金貸与制度及び薬剤師奨学金返済支援制度の運用/
⑤医療DXの推進

4-5 心豊かにする文化・スポーツ・教育の推進

主な取組: ①新しい文化ゾーンの形成/②スポーツ・文化資源を活用した観光まちづくり
③教育環境の充実/④コミュニティ活動・伝統行事等への支援/⑤部活動地域展開の推進

4-6 市民が活躍できる舞台づくり

主な取組: ①八幡浜市民文化活動センター Comican(コミカン)の活用
②公民館活動の支援/③市民主体によるまちづくり活動の支援 /④みなと交流館の活用

4-7 周辺地域における集落機能の維持

主な取組: ①公共交通の維持確保・利便性向上と交通弱者対策/②地域おこし協力隊の配置
③空き家対策の推進 /④生活道等の整備/⑤飲料水、生活排水等の環境維持

4-8 多様な連携による魅力創造

主な取組: ①多様な連携による魅力創造
